

その技が、
くらしの安全と安心を
支えています。



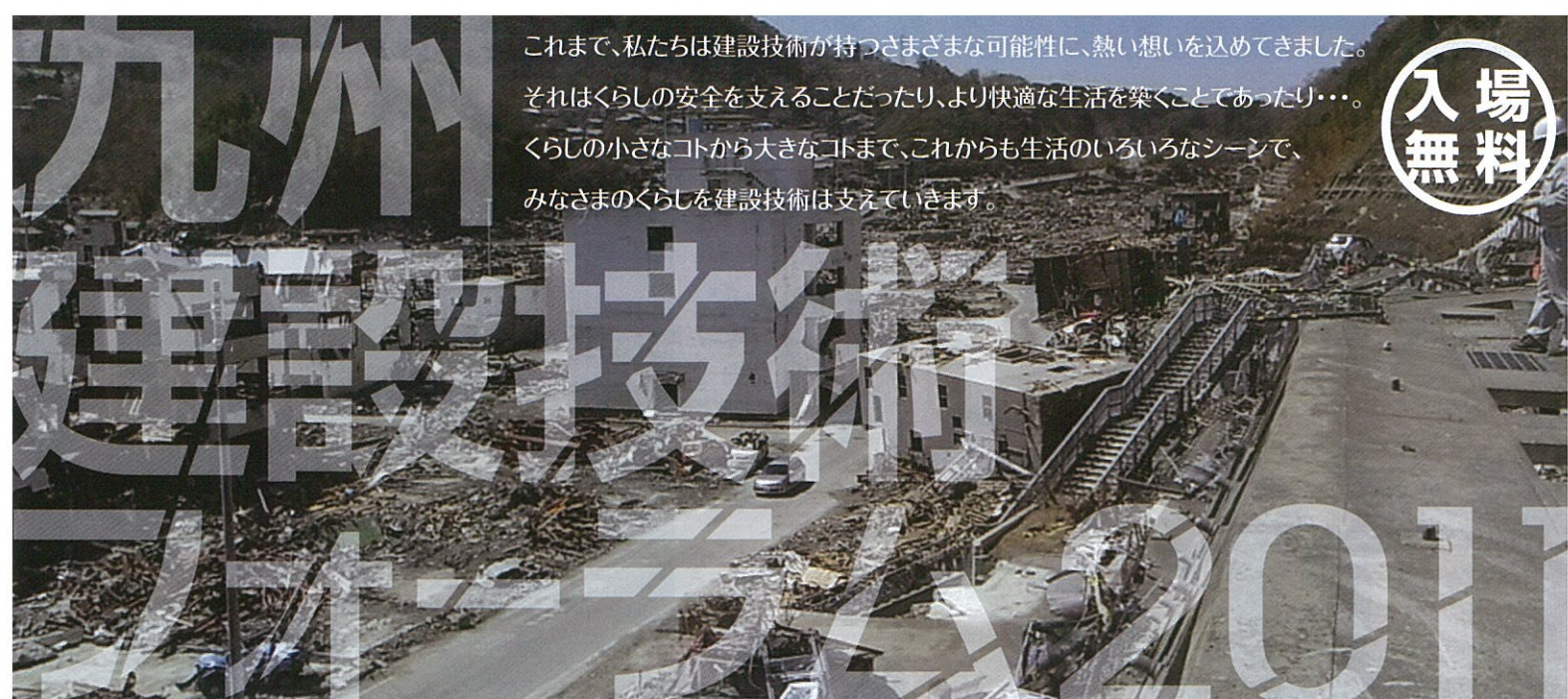
九州 建設技術 フォーラム 2011

10月25日(火) 10:00~17:00
(受付開始9:00~)

入場無料

○ 会場：福岡国際会議場（福岡市博多区石城町2-1）

- 主催 九州建設技術フォーラム実行委員会：
（公益社団）土木学会西部支部／（公益社団）地盤工学会九州支部／（社）日本建設業連合会九州支部／（社）福岡県建設業協会／（社）建設コンサルタンツ協会九州支部／（社）日本道路建設業協会九州支部／（社）日本橋梁建設協会九州事務所／（社）日本建設機械化協会九州支部／（社）7°リストレスト・コンクリート建設業協会九州支部／（社）日本埋立浚渫協会九州支部／特定非営利活動法人九州コンクリート製品協会／（社）全国測量設計業協会連合会九州地区協議会／（社）全国特定法面保護協会九州地方支部／（社）九州建設弘済会／（社）九州地方計画協会／（社）北部九州河川利用協会／（社）九州建設技術管理協会／国土交通省九州地方整備局／福岡県／福岡市／北九州市／（独）水資源機構筑後川局／西日本高速道路（株）九州支社／福岡北九州高速道路公社
- [協力支援]
- 後援 九州建設業協会／佐賀県／長崎県／大分県／熊本県／宮崎県／鹿児島県
西日本新聞社／日本経済新聞社西部支社／（株）日刊工業新聞社／（株）日刊建設工業新聞社／（株）日刊建設通信新聞社／（株）九建日報社



これまで、私たちは建設技術が持つさまざまな可能性に、熱い想いを込めてきました。それはくらしの安全を支えることだったり、より快適な生活を築くことであったり…。くらしの小さなコトから大きなコトまで、これからも生活のいろいろなシーンで、みなさまのくらしを建設技術は支えています。

入場無料

9:00~

【受付開始】2Fロビー

10:00~

【開会式】実行委員長挨拶 3Fメインホール

開会式終了後
(50分)

【基調講演】3Fメインホール

「東北地方太平洋沖地震津波による海岸・港湾構造物の損壊の過程と今後の海岸防災」

今年(2011年)3月11日に発生した東北地方太平洋沖地震津波は、明治三陸地震津波(1896)と貞観津波(869)を合わせたような規模で、1,000年に1度と言える津波であった。岩手・宮城・福島等の3県を中心とする各地で、津波が堤防や護岸などの海岸保全施設の天端高を越えたために、越流が起こり、陸地に膨大な被害をもたらすと同時に、海岸保全施設そのものも甚大な被害を受けた。海岸防災の方針は今後の各地域の復旧・復興を進める中でその鍵となるものである。本講演では、海岸保全施設の被害の実態を紹介するとともに、今後の津波防災における、最大クラスの津波および施設の設計津波という2段階の津波設定の考え方を紹介し、これからの施設に求められる粘り強さについて述べる。



東京大学 大学院新領域創成科学研究科教授

磯部 雅彦氏

(略歴)
1975年東京大学工学部土木工学科卒。
1981年工学博士(東京大学)
1983年横浜国立大学工学部土木工学科助教授
1992年東京大学工学部土木工学科教授
1999年東京大学大学院新領域創成科学研究科環境学専攻教授
2006年から東京大学大学院新領域創成科学研究科 社会文化環境学専攻教授として現在に至る
2009年4月から2011年3月まで副学長

(主な社会活動等)
日本沿岸学会理事、土木学会理事・副会長等を歴任。現在、総合海洋政策本部 参与、中央防災会議専門調査会委員、社会資本整備審議会・交通政策審議会交通体系分科会計面部会委員、交通政策審議会港湾分科会防災部会委員、海洋における津波対策検討委員会委員長等。

11:00~

【新技術相談対応】 2F多目的ホール

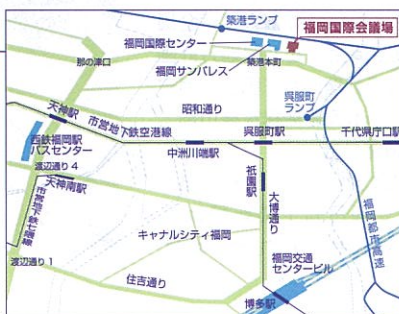
新技術に関する相談は、以下の4部署が受け付けます。

◇国土交通省九州地方整備局

- ・ 企画部施工企画課
- ・ 港湾空港部海洋環境・技術課
- ・ 九州技術事務所
- ・ 下関港湾空港技術調査事務所

ACCESS

■ 地下鉄(福岡空港から)	福岡空港駅	→ 約7分	呉服町駅	→ 徒歩 約15分	福岡国際会議場
■ バス(博多駅から)	博多駅センタービル前 西鉄バス停 E のりば(福銀前)	→ 約11分	〈博多駅行〉 国際センター サンバレス前下車	→ 徒歩すぐ	福岡国際会議場
■ バス(天神から)	ソラリアステージ前 西鉄バス停 2A のりば	→ 約9分	〈中央駅行〉 国際会議場 サンバレス前下車	→ 徒歩すぐ	福岡国際会議場
■ 都市高速	太宰府・北九州方面から	→	築港ランプ	→ 約3分	福岡国際会議場
	唐津方面から	→	東浜ランプ	→ 約5分	福岡国際会議場



● 技術情報の提供

11:10~17:00 ブース展示

応募された技術について、下記分類ごとにブースにて展示を行います。

- 安全
- 品質
- 環境
- 景観
- コスト
- ICT



11:10~17:00 プレゼンテーション

応募された技術について、下記分類ごとに発表を行います。(発表15分、質疑応答5分)

- 安全
- 品質
- 環境
- 景観
- コスト
- ICT
- 発注者の情報提供
- 土木学会
- 地盤工学会



11:10~17:00 ポスターセッション

主催団体や大学等の若手研究者の発表の場です。



10:00~17:00 「技術概要集」の配布

応募された技術のすべてを下記分類ごとに取りまとめた概要集を来場者に配布いたします。

- 安全
- 品質
- 環境
- 景観
- コスト
- ICT



継続教育(CPD登録)について

当フォーラムでは、(公益社団)土木学会、(社)全国土木施工管理技士会連合会、(社)建設コンサルタンツ協会等のプログラム認定を受ける予定です。その他の団体及び会員の方でも申請することができます。

